

この『想いをカタチにするWORKBOOK ~「共感」からはじめる社会への一歩~』は、
あなたが大切にしたいことに気づき、
さらにまわりの人もそれぞれ自分の大切な感情があると知ることで、
共感があふれる世界にしていきたいと思い、作りました。

最後まで取り組んだ感想や、これから行動してみたいことを書いてください。

小学生向け

想いをカタチにする WORKBOOK

—「共感」からはじめる社会への一歩 —

小学校

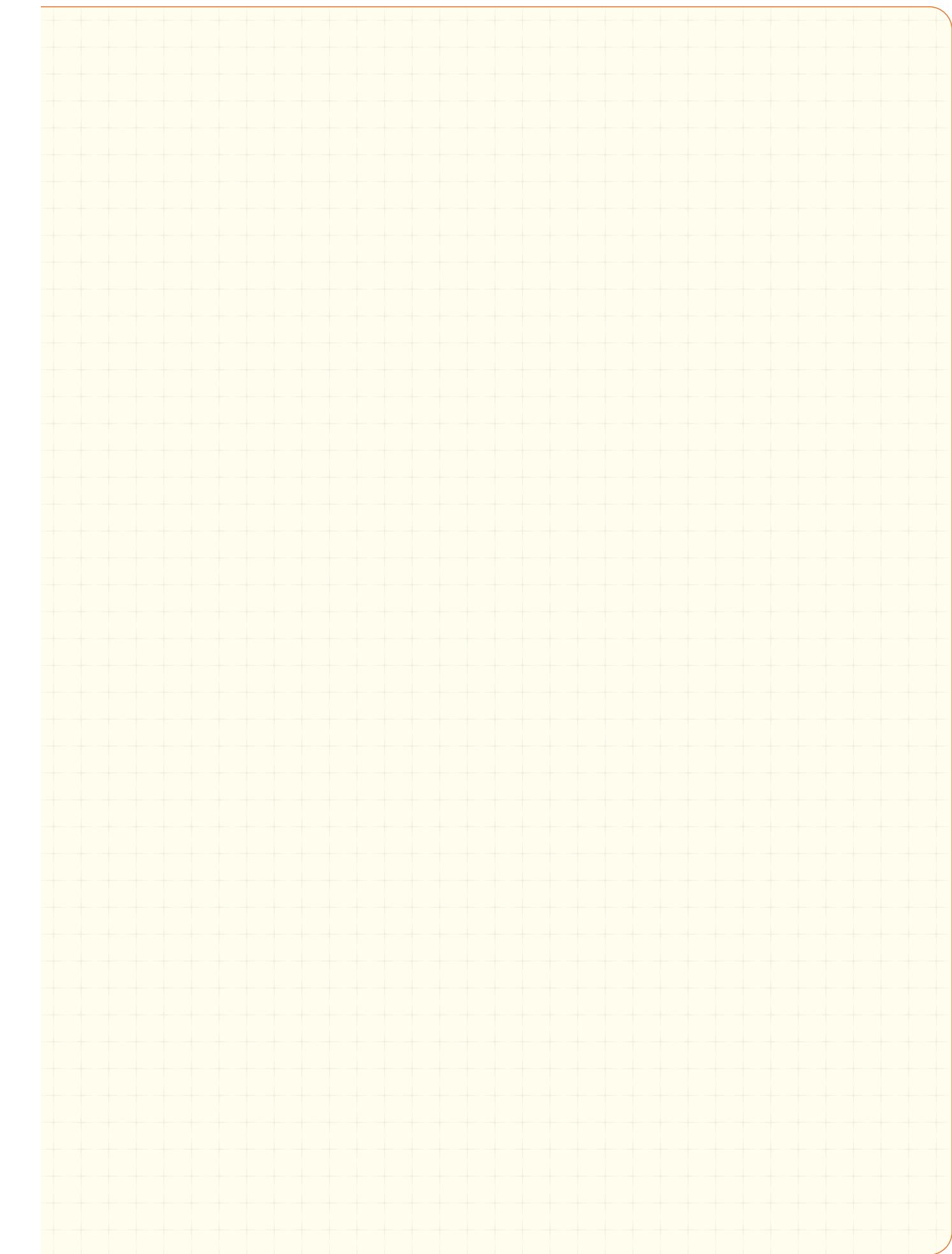
年 組 番

名前

みんなの大切なモノが、未来へ続きますように。

違う考え方であっても、一緒に実現させたいと思う気持ち、
その共感をこれからも大きくしていってください。

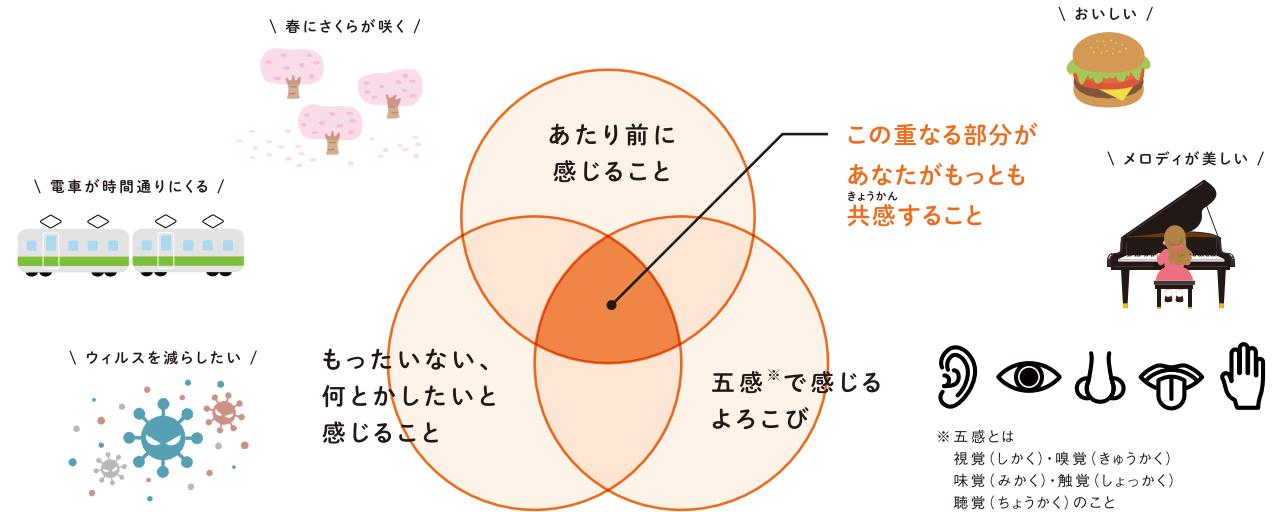
きょうかん 共感って何だろう？



MEMO



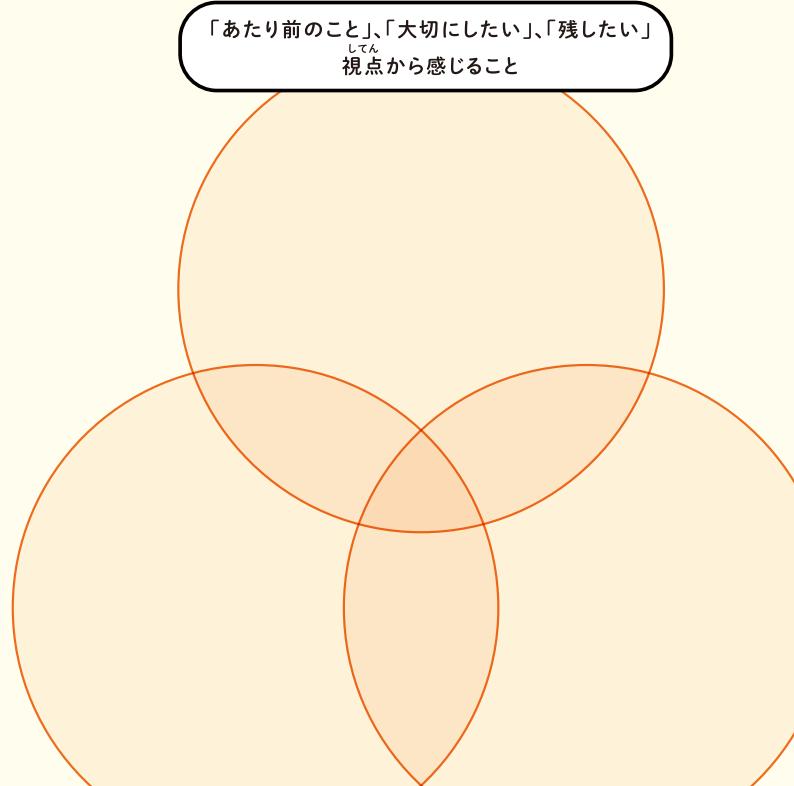
あなたの考え方を3つの視点から広げてみよう



練習してみよう！

あなたが好きな季節を春・夏・秋・冬からえらび、その理由を3つの視点から広げてみましょう。

わたしは、_____だから_____が好きです。



STEP 3

まわりの人に話してみて、どうでしたか？

上手くできしたこと、気づいたこと、難しかったことなど感想を書きましょう。

自分の考えていることを周りの人に分かってもらったり、^{きょうかん}共感してもらえることでできることはふえていきます。
自分たちが暮らしやすい、大切なものを守ることができる世の中にしていくのは、あなたたち自身です。

あなたの達成感は？

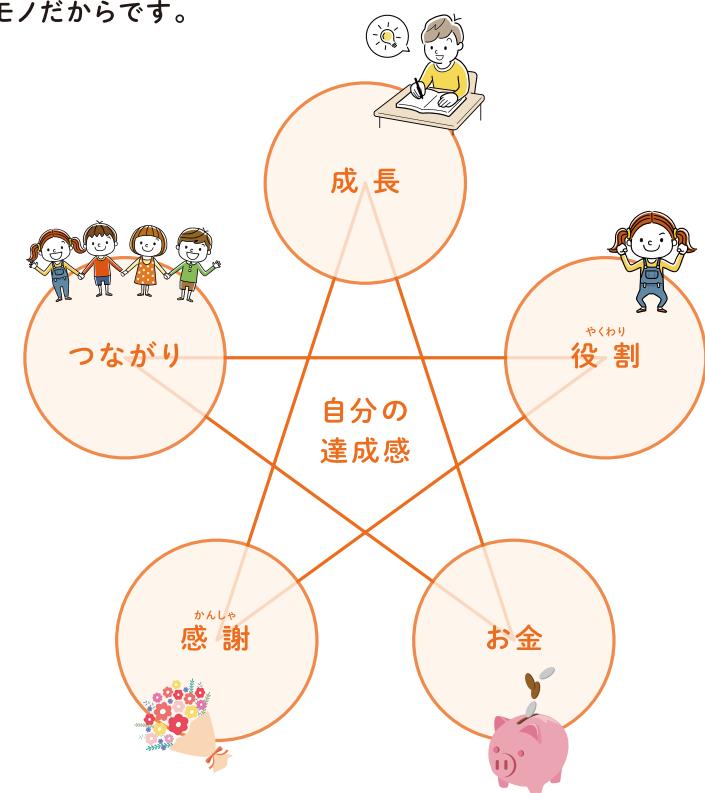
ここまで取り組んできて、人それぞれ違った考え方がありました。
それは、大切にしたいと感じる感情はその人だけのモノだからです。

そして、なにごとも一生懸命やっていると
カタチを変えて自分に戻ってきます。

勉強、スポーツ、音楽など
一生懸命やったときにどのようなカタチになって
戻ってくると、あなたは達成感を感じますか？

たとえば

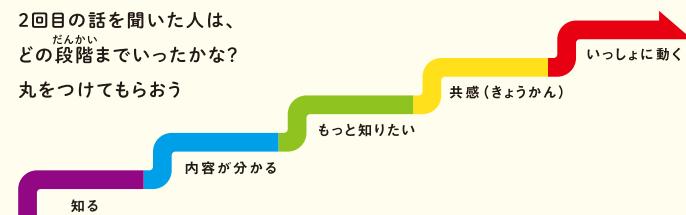
- ・成長してできることがふえた
- ・班長にえらばれた
- ・気持ちがつながる仲間ができた
- ・「ありがとう」の言葉をもらった
- ・おこづかいがもらえた



この達成感もまた、みんなちがうものです。

STEP 2

自分の考えを人に伝えることは、想像以上にむずかしいことです。
しかし、あなたの考えを伝えることはあなた自身にしかできません。
どのように話したら上手く伝わるのか、工夫することを考えて2回目にチャレンジしよう！



1回目よりも
をがんばって話してみる！

わたしは、
に話しました。

話してみて思ったことは

話を聞いている人の様子は

話してみると、はじめに考えていたことが

あなたの好きな食べもので考えてみよう

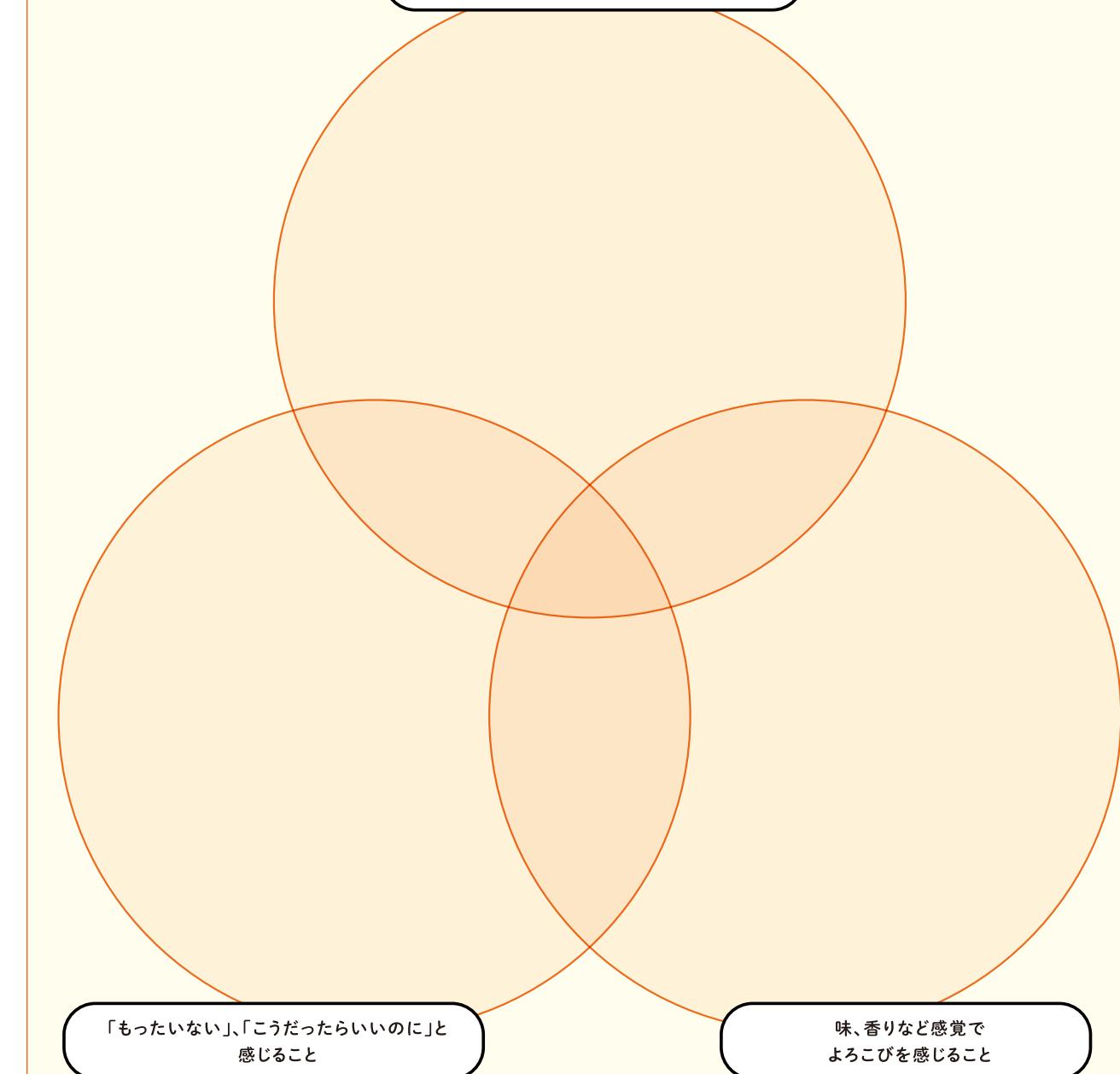
ここからは食べものをテーマにして3つの視点から考えてみましょう。
その後、共感の輪を広げる練習をしていきます。

STEP 1

わたしは食べものの中で

が一番好きです。

「あたり前に感じること」だれが、どうやって
その食べ物を作っていますか？



思いつくことから書きこみましょう。そして本やインターネットでも調べてみましょう。
見えていなかった、裏側にある世界を知ることで新たに感じることも書きこんでいきましょう。

STEP 2

あなたの一番好きな食べものが、この先もずっと続いていいってほしいですよね。

そのために「もっとよくできること」を考えてみましょう。

前のページで書いたことや、ヒントを参考に考えて書きましょう。



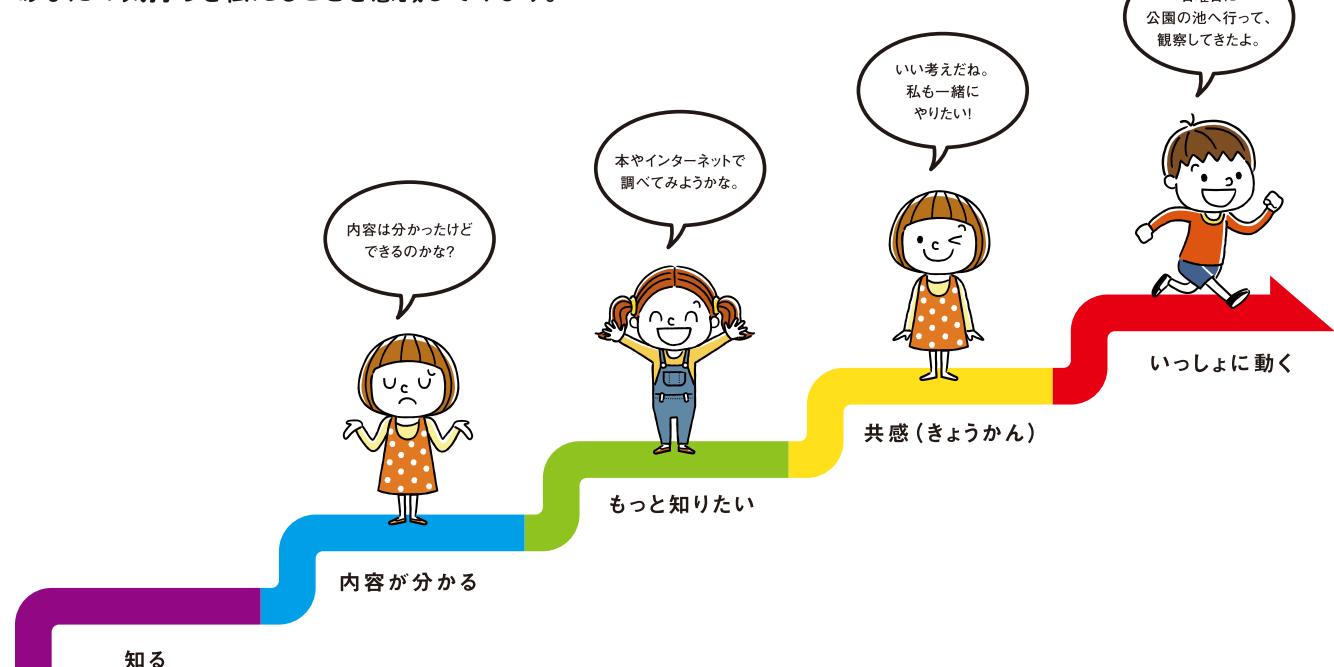
共感の輪をひろげよう

1・2ページ目のマンガでも、共感してもらえるまでに段階がありました。

まずはあなたの考えを話すことで知ってもらい、内容を分かってもらうことを目指しましょう。

そして話を聞いている人がもっと知りたいと興味をもってもらえるように、

あなたの気持ちを伝えることを意識してみよう。



STEP 1

あなたの考えを知ってもらい、共感してもらうことを目指しましょう。

